

●脇川ますみ・プロフィール

1955年旧朝日村生れ。村上高校卒業（1974/26回生）、上京し御茶ノ水美術学院デザイン科に在籍。以後、設計事務所や生命保険会社などで勤務。

縁あって、同級生の脇川司と結婚し、村上市に帰ってきました。夫の転勤地の旧山北町で長男を出産後、子育てしながら学童保育所で子供と関わるようになってから心理学や脳科学に興味を持ち、学習会や研修会に参加するようになりました。

現在、平本あきお氏の「現場変革リーダー養成講座」、「プロ・アライブ脳科学」などのセミナーを受講しています。その他コーチングの勉強のために「ドクターフキ子のプロコーチ会」、読み聞かせ指導として「読書教育法のアニメーション研究会」に所属しています。余暇として村上高校同窓会の大先輩で元講談社重役の鈴木富夫氏が主宰する「けやき文庫」に参加しています。

息子が入学した市立瀬波小学校で読み聞かせボランティアに参加してから16年間、現在も読み聞かせを続けています。絵本の面白さ、自由さに引き込まれ、自分でお話を創りたいと思うようになりました。

この絵本「HANA ハナ」は私の郷土愛に画家脇川司が協力してくれて形になりました。村上の紹介として、臥牛山の絵本をたくさんの方に読んで頂けたら幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

●脇川 司・プロフィール

1955年村上市生まれ。村上高校卒（1974/26回生）、東京芸術大学絵画科卒、東京芸術大学大学院修了、以後東京都内の広告デザイン会社などを勤務後、村上に戻り、教職員となる。2016年に退職。

教員時代の後半から仕事の傍ら、制作、個展活動を再開して、退職後は作家活動と共に、絵画教室の講師を務めています。作風は作家活動の場合は、抽象的なものが多いですが、市民の方々が楽しめるものとして、懐かしい郷土の風景を水彩やパステルで再現し心む風景画も展覧することもあります。油彩、版画、水彩、デッサンと幅広く絵画指導を展開し、ここ数年は市の社会教育推進事業でデッサン教室を開催し、美術愛好者のすそ野を広げる活動を行いました。

【受賞・出品歴】東京芸大卒業制作「O氏賞」受賞（1979）（シルクスクリーン）、アジア青年美術家展佳作（1979）、神奈川国際版画トリエンナーレ展（2001）、山本鼎版画大賞展入選（2002）、講談社絵本大賞に応募「HANA」（2017）

【展覧会】芸大アトリエCグループ展（1979）、個展/銀座玉屋アートギャラリー（1981）、村上市内の画廊や新潟市の画廊（羊画廊）などで10回程度個展を開催。（2000～2018）